

平成29年度第3回 旭区政会議【全体会議（平成30年3月8日開催）】における意見への対応方針

分類

当年度（平成29年度）において対応
 平成30年度運営方針に反映または平成30年度に対応予定
 平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討
 対応困難または対応不可
 その他

番号	委員名	意見	分類	対応方針	備考
旭区将来ビジョン2022（案）について					
1	木野委員	P17「2 誰もがくらしやすいまちづくりの取組」の成果指標の、障がい福祉サービス利用者を対象としたアンケートの実施方法とは。		【保健福祉課（地域福祉）】 障がい福祉サービスの給付にかかる更新時期に合わせて実施する（年1回・給付対象者全員）。	
2	鎌田委員	P3「地域の強い絆と住民の力で築く安全・安心なまち」に「若い担い手の育成などの取組」とあるが、どのように取り組むのか。		【総務課（庶務）】 地域における小学生を中心とする土曜授業やジュニア防災リーダーの育成を契機として、家族と一緒に取り組める啓発を地道に進めるとともに、ファミリー層を対象とした啓発を企画検討する。	
3	大城委員	P11「地域振興会への加入率が平成28年4月1日現在74%」とあるが、区広報紙はそれ以外の26%の方々には配られていないということだと思ふ、また、当ビジョンのパブリック・コメントはどのように周知したのか。		【総務課（企画調整）】 いわゆる町会未加入世帯のうち、希望する世帯には個別に、区広報紙を配付している。また、当ビジョンのパブリック・コメントについては、区ホームページへの掲載（報道発表含む）、区民情報コーナーへの配架を行った。	
4	石中委員	P19「地域防災力の底上げ」とあるが、特に災害時避難所である学校の備蓄に関して、具体的にどのように学校との連携を図るのか。		【総務課（庶務）】 学校と地域による備蓄物資の種類や使用方法等の確認に向けて、区役所で準備を進めている。また、平成29年10月に大和川増水時の避難所開設時の課題を受けて、避難所となる市立小中学校で災害時初動マニュアル作成等を学校と地域と区役所で進めており、地域防災に対する学校の認識も高まっている。これを契機に学校との連携を進める。	
5	石中委員	P20「スーパー堤防整備事業の推進に協力」とあるが、どのような協力を考えているのか。		【総務課（企画調整）】 国土交通省の事業に協力していく方向で考えている。	
6	亀井委員	P20「2 防犯啓発の取組」として、防犯カメラの設置とあるが、設置後のメンテナンス等についてどのように考えているのか。		【市民協働課（市民協働）】 現状、大阪市としては、新規設置に重点を置いており、メンテナンス費用までの予算を計上することができない。	地域活動協議会補助金で予算化し、メンテナンスすることは可能。
7	井上委員	P11「魅力創出の取組」について、「区商店会連盟への加入商店街数が減少している」とあるが、現状はどうなっているのか、原因はどこにあると考えるのか、対策はどのように考えているのか。		【市民協働課（まち魅力）】 現状については、平成22年度と平成29年度を比較すると、商店街数が14から8へと減っている。原因については、景気及び後継者問題があると認識している。またハード面の問題として、駐車場がないことも課題と聞いている。経済戦略局とも連携しながら、商店街の支援に努める。	
8	井上委員	P11「魅力創出の取組」について、地域資源（城北公園）の活用方策をどのように考えているのか。		【市民協働課（まち魅力）】 現在、新たな「旭区ブランド」等の認定を検討しているところであり、区内外へのPRを含め、地域資源を活用したいと考えている。ご指摘の視点も持ちながら、旭区の魅力発信に努める。	
9	川井委員	旭区将来ビジョン2022（案）で掲げている「安心して住み続けられるあたたかいまち」、これは正にそのとおりであるが、区役所と区民の想いに違いがあると思う。区役所には常にこの気持ちで取り組んでもらいたい。		【総務課（企画調整）】 区民アンケート等を通じて、区民ニーズの把握に努めるとともに、旭区将来ビジョン及び旭区運営方針等に基づき取り組む。	
平成30年度旭区運営方針（案）について					
10	隅田委員	具体的取組の内容と中間アウトカムが対応していないところがある。また、戦略に記載があるのに具体的取組に記載がないものがある。		【総務課（企画調整）】 「具体的取組2-2-2 福祉推進のための取組」の指標を「障がい者福祉関連のイベントにおいて実施するアンケートで、満足度70%以上」としていたが、「福祉関連のイベントや 学習会等において実施するアンケートで、満足度70%以上」とアウトカムを修正した。また、「めざす成果及び戦略3-1 コミュニティ活性化の取組」の具体的取組は、区の運営方針に記載がないが、「市政改革プラン2.0（区政編）」において全市で共通の目標が設定されており取組を進める。	
11	隅田委員	「めざす成果及び戦略3-1」について、既存の活動も大事だとは思ふが、地縁組織とNPO等がうまく連携できていない場合があると思うので、それに対する取組も大事だと思ふ。		【総務課（企画調整）】 各担当で知恵を絞っていきたいが、委員の皆さまからもご提案いただけるとありがたい。	
12	石中委員	具体的取組の内容について、具体的な進捗状況を中間振り返りのタイミング等で報告してほしい。		【総務課（企画調整）】 区政会議で、運営方針の中間振り返りの時点での進捗状況を報告する。	
13	坂井委員	「具体的取組1-2-4 こども食堂における教育支援」について、こども食堂の定義を教えてください。		【保健福祉課（子育て支援）】 旭区の教育支援としては、子どもに居場所を提供し食事を出している団体を対象にしている。	
14	浦西委員	「経営課題2 暮らしを守る福祉等の向上」について、「具体的取組」を見ると、元気な高齢者のための取組となっているように思う。		【保健福祉課（地域福祉・保健活動）】 高齢者福祉については、国の制度を基に介護保険制度等充実した施策を市域レベルで実施しているところであり、当区の運営方針には認知症対策等区の特徴ある施策を表記した。	

平成29年度第3回 旭区区政会議【全体会議（平成30年3月8日開催）】における意見への対応方針

分類

当年度（平成29年度）において対応

平成30年度運営方針に反映または平成30年度に対応予定

平成30年度では対応できないが、今後引き続き検討

対応困難または対応不可

その他

番号	委員名	意見	分類	対応方針	備考
その他					
15	戸上委員	担当職員に異動があった場合、後任職員に引継ぎができていないように思うが、どのように引継ぎが行なわれているのか。		【総務課（企画調整）】 基本的には、引継文書を作成しているが、文書にできないような細かい部分は引継ぎができていない可能性がある。具体的な組織としての要望は書面でいただくことが一番確実である。	
16	戸上委員	「旭塾」の現状について、教えてもらいたい。		【総務課（企画調整）】 平成29年10月から実施している。全中学校（4校）で実施しているのは旭区だけである。総枠90名に対し、53名の生徒が受講している。平成30年度も継続して実施する予定である。	
17	戸上委員	高齢者が多くなっている現状で、災害があった際にどう対応しようと考えているのか。		【総務課（庶務）】 これまで、地域の方のご協力を得ながら、災害時における要援護者及び支援者（サポーター）の名簿作成に取り組んできた。特に発災直後は区役所等の公助による対応に限界があることから、高齢者をはじめ、災害時の避難に支援が必要な方を地域の“ご近所”力でどのようにサポートできるか、課題の整理から進める。	
18	宮川委員	障がいのある方や高齢者、要援護者も含め、住人全てと一緒に安心して住める地域づくりが一番大切である。校区単位でも構わないので、いざというときのために、どういう対応ができるかということを考えていただきたい。		【総務課（庶務）】 地域の特性や熟度を踏まえて、共助の仕組みが機能する対応策について、地域の方とともに検討を進めるとともに、先駆的事例の情報共有等、できるところから取り組む。	